

●実務経験のある教員等による授業科目

サウンドクリエイター科

レコーディングエンジニアコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の 時数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	38	38	必修	講義	○	76
	デビュー・就職実務Ⅰ	93		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		-
	著作権		20	必修	講義		-
	PC実習	45		必修	実習		-
	選択授業	38	38	必修	講義		-
	異文化研究	22		必修	講義		-
	イベント制作実習A	134	110	必修	実習	○	244
	イベント制作実習B	301	305	必修	実習	○	606
専門科目	レコーディング実習Ⅰ	76		必修	実習	○	76
	レコーディング実習Ⅱ		76	必修	実習	○	76
	Pro Tools実習Ⅰ	76		必修	実習	○	76
	Pro Tools実習Ⅱ		76	必修	実習	○	76
	音響基礎	38		必修	実習	○	38
	ミキシング実習Ⅰ	38		必修	実習	○	38
	ミキシング実習Ⅱ		58	必修	実習	○	58
	スコアトレーニングⅠ	19		必修	講義		-
	スコアトレーニングⅡ		19	必修	講義		-
	サウンドレコーディング技術概論		18	必修	講義	○	18
	CD制作実習	38	38	必修	実習		-
合計	総授業時間数	956					

合計	総授業時間数		851				合計
	卒業時最少時間		1807				1382

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。</p> <p>講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。</p> <p>到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし
成績評価	<p>課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。</p> <p>(2019年度例)</p> <p>エイベックス・エンタテインメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、oricon ME、株式会社エイスリー 等</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	93 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:「マンダラートシート」の作成 就職志望: I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「マンダラートシート」の作成
2	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マンダラートシート」フィードバック
3	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
4	アーティスト志望:プロフィール制作方法的の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
5	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
6	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
7	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
8	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
9	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック
10	アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】
11	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レピュテーション(評価)・リスクマネジメント】
12	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング
13	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック
14	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編)
15	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編)
16	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック
17	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける
18	アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック
19	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:Ⅱ【目標設定と計画、自覚】「マンダラートシート」の返却と振り返り。

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用)
成績評価	<p>模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	45 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業			実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	38	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による
成績評価	<p>※各科目によって異なる</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	22 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	134 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	110 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	301 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	305 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	レコーディング実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	井上 一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	76 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	録音に関するいろはを学び、レコーディング技術を活用出来るようになる。主に、マイクの種類と役割、使用方法。レコーディングの基礎知識。これらを習得して行きながら、レコーディング実習を出来るようになることを目指す。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション／レコーディングエンジニアの仕事とは
2	F7th StudioIについての機材紹介、他スタジオとの違い、各スタジオ紹介
3	マイクの種類、機能、音の違いなどの説明／マイクスタンドの扱い方
4	Pro Toolsについて①／オーディオデータのインポート
5	Pro Toolsについて②／簡単なヴォーカルレコーディング
6	Pro Toolsについて③／簡単なヴォーカルレコーディング
7	Pro Toolsについて④／ヴォーカルエディット
8	Pro Toolsについて⑤／ヴォーカルエディット
9	前期まとめ
10	後期イントロダクション／前期復習
11	バンドセッティングについて／バンドレコーディング
12	バンドセッティングについて／バンドレコーディング
13	バンドセッティングについて／バンドレコーディング
14	各エディット作業
15	各エディット作業
16	各エディット作業
17	各エディット作業
18	各エディット作業
19	後期まとめ

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1987年～2003年、Studio TAKEONEにてアシスタントエンジニアとして勤務 2003年、故郷新潟にレコーディングスタジオを開設。2006年、株式会社エヌドライブ設立代表取締役。

SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	レコーディング実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	井上 一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	76 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	1年次に学んだレコーディングの技術をさらに応用し、さらに高いレベルでのレコーディング・エディット作業を学ぶ。 実際のエンジニアのレベルまで上げ、レコーディングスタジオへの就職を目指す。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション／レコーディングエンジニアの仕事とは
2	レコーディング実習
3	レコーディング実習
4	レコーディング実習
5	レコーディング実習
6	レコーディング実習
7	レコーディング実習
8	レコーディング実習
9	前期まとめ
10	後期イントロダクション／レコーディングエンジニア募集状況について
11	レコーディング実習
12	レコーディング実習
13	レコーディング実習
14	レコーディング実習
15	レコーディング実習
16	レコーディング実習
17	レコーディング実習
18	レコーディング実習
19	後期まとめ

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1987年～2003年、Studio TAKEONEにてアシスタントエンジニアとして勤務 2003年、故郷新潟にレコーディングスタジオを開設。2006年、株式会社エヌドライブ設立～代表取締役。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	Pro Tools実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	井上 一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	76 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	レコーディングの授業と連携し、Pro Toolsの使用方法をより深く学ぶ。 2年次に受験する「Pro Tools技術認定試験」Aランク取得に向けて、問題集に取り組む。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション: DAWとは? / レコーディング業界でのPro Toolsの現状 / この授業で何を習得するか
2	Pro Toolsの起動 (Mac操作も含め) / 各ウインドウ / 再生 / トラック作成 / オーディオインポート / 保存 / 終了
3	編集ツール・モード / 拡大・縮小 / 編集機能
4	ミックスウインドウの主な機能 / プラグインについて / インサート系・センドリターン系エフェクトについて
5	録音 / プレイリスト / 再生モード / 録音モード / オーディオインターフェイス
6	素材録音～編集 (リズムパターンの作成) ～ミックス①
7	素材録音～編集 (リズムパターンの作成) ～ミックス② / テンポの変化 / エラスティックオーディオ
8	バウンス / PCMについて / 音声ファイル形式について / マーカー、メモリーロケーションについて
9	実技テスト: (録音、リズムパターン作成、ミックス、バウンス) / 筆記テスト
10	マスターフェーダートラック / クリックトラックの作成 (プラグイン、オーディオ) / 表示について
11	トラックビュー / オートメーション (リアルタイム、編集ウインドウ、プラグイン) / 非アクティブ (トラック・プラグイン)
12	AudioSuite / グループ (トラック・クリップ) / 統合 / クリップエクスポート / クリップリストについて
13	設定 (プレイバックエンジン、ハードウェア、セッション、I/O、ディスク割り当て)
14	ストリップサイレンス、Beat Detectiveを使った編集
15	MIDIトラック、インストゥルメントトラックについて / MIDIの録音、編集、ヴァーチャルインストゥルメントの再生
16	MIDIのリアルタイム録音以外の入力方法、クオンタイズ、ベロシティ、サスティンとうのコントロールについて
17	Quick Timeムービーを使った編集・書き出し等について
18	後期課題作成: (イメージビデオインポート、オーディオ録音、MIDI入力、ビート編集、AudioSuite、プラグインを使ったMix、ビデオとして書き出す)
19	後期課題作成～提出

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1987年～2003年、Studio TAKEONEにてアシスタントエンジニアとして勤務 2003年、故郷新潟にレコーディングスタジオを開設。2006年、株式会社エストラライブ設立～代表取締役。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	Pro Tools実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	井上 一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	76 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	<p>前期は「Pro Tools技術認定試験」Aランク取得に向けて、問題集に取り組む。 後期はレコーディング実習の授業と連携し、作品制作をする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Pro Toolsの基礎、Pro Tools試験の概要、ショートカット、昨年の試験問題
2	Pro Tools問題集[初級]より: 概要、セッションとトラック、録音
3	Pro Tools問題集[初級]より: 編集、ミキシングの基礎
4	Pro Tools問題集[初級]より: プラグイン、オートメーション、ミックスダウン、シンク、セッションデータのインポート/エクスポート、MIDI
5	Pro Tools問題集[初級]より: 用語集・ショートカットなど 技術資料集
6	Pro Tools問題集[中級]より: 概要、セッションとトラック、録音
7	Pro Tools問題集[中級]より: 編集、ミキシングの基礎
8	Pro Tools問題集[中級]より: プラグイン、オートメーション、ミックスダウン、シンク、セッションデータのインポート/エクスポート、MIDI
9	Pro Tools問題集[中級]より: 用語集・ショートカットなど 試験対策: 過去問題
10	試験対策、過去問題
11	試験対策、過去問題
12	試験の答え合わせ、回答の解説
13	Pro Toolsを使用したレコーディング実習(レコーディング実習Ⅱの授業と同時に進行する)
14	Pro Toolsを使用したレコーディング実習(レコーディング実習Ⅱの授業と同時に進行する)
15	Pro Toolsを使用したレコーディング実習(レコーディング実習Ⅱの授業と同時に進行する)
16	Pro Toolsを使用したレコーディング実習(レコーディング実習Ⅱの授業と同時に進行する)
17	Pro Toolsを使用したレコーディング実習(レコーディング実習Ⅱの授業と同時に進行する)
18	Pro Toolsを使用したレコーディング実習(レコーディング実習Ⅱの授業と同時に進行する)
19	まとめ

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1987年～2003年、Studio TAKEONEにてアシスタントエンジニアとして勤務 2003年、故郷新潟にレコーディングスタジオを開設。2006年、株式会社エヌドライブ設立～代表取締役。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音響基礎		実務授業の有無	○
担当講師	中野 大輔		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	サウンドクリエイター科		総授業時間	38 時間
			対象コース	レコーディングコース

授業概要	<p>音響機材の設営、オペレート等の指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PAミキサーの基本的な操作方法 ・PA機材のセッティング方法 <p>音響機材への理解を深め、小規模での機材設営が可能となる知識を身につける。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	・当授業の趣旨、内容等の説明
2	・音響設営に必要な機材の紹介
3	・機材セッティング 序(正しく接続して音が鳴る手順を説明)
4	・機材セッティング 序(正しく接続して音が鳴る手順を説明)
5	・PAミキサーの使用方法 初歩編(イコライザー、外部アウトプットへの出力等)
6	・PAミキサーの使用方法 初歩編(イコライザー、外部アウトプットへの出力等)
7	・PAミキサーの使用方法 基本編(イコライザー、外部アウトプットへの出力等)
8	・PAミキサーの使用方法 基本編(イコライザー、外部アウトプットへの出力等)
9	・PAミキサーの使用方法 応用編(コンプレッサー、リバーブ等のエフェクト操作)
10	後期イントロダクション
11	・PAミキサーの使用方法 応用編(コンプレッサー、リバーブ等のエフェクト操作)
12	・必要機材の紹介(ケーブル類、スピーカー等の説明と正しい接続方法)
13	・必要機材の紹介(ケーブル類、スピーカー等の説明と正しい接続方法)
14	・仮想イベント設営 説明編(授業会場にて音響機材を設営する)
15	・仮想イベント設営 説明編(授業会場にて音響機材を設営する)
16	・仮想イベント設営 実践編(必要機材やセッティングを自身で考え実践)
17	・仮想イベント設営 実践編(必要機材やセッティングを自身で考え実践)
18	・仮想イベント設営 タイムアタック(授業時間内でどこまで設営できるか挑戦)
19	・仮想イベント設営 タイムアタック(授業時間内でどこまで設営できるか挑戦)

教科書等	なし
成績評価	<p>最終授業課題提出50%、授業態度および学習意欲50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>秋葉区初の音楽スタジオ「中野スタジオ」オーナー</p> <p>2015年 Niigata KENTO'S Bandのドラマーに就任</p> <p>PA音響・ドラム講師・楽曲制作・レコーディングエンジニア等多岐に渡り活動中。</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ミキシング実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	<p>ミキシングの基礎を学び楽曲の構造や演出の理解を深める。 基本的なプラグインの使い方を学び、デモ音源・楽曲のクオリティを最大限に高める手法を習得する。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 データ形式やミキシングについての基礎知識
2	参考トラックを用いたミキシング ヴォリュームとパン
3	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・コンプレッサー/ゲート
4	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・イコライザー(楽器別の周波数の特性)
5	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・イコライザー(楽曲全体での周波数の特性)
6	参考トラックを用いたミキシング AUXトラック、オートメーション、プラグイン・リバーブ、ディレイ
7	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・マキシマイザー、リミッター
8	課題トラックのミキシング ミックスダウン
9	課題提出 まとめ
10	後期動機づけ 授業の趣旨
11	プラグインの使い方の応用 複数のプラグインの組み合わせ サイドチェイン
12	マスタリングについての基礎
13	MIDIトラックの書き出し方
14	オリジナル曲のミキシング
15	オリジナル曲のミキシング
16	オリジナル曲のミキシング
17	オリジナル曲のミキシング ステムデータの書き出し データ確認
18	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
19	オリジナル曲のミキシング ステムデータ・マルチデータ・2MIX提出

教科書等	なし
成績評価	<p>授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ミキシング実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	58 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	レコーディング実習と連携し、学生作品のミキシングを行い、レベルを上げていく。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 1年次の復習
2	オリジナル曲のミキシング
3	オリジナル曲のミキシング
4	オリジナル曲のミキシング
5	オリジナル曲のミキシング ステムデータの書き出し データ確認
6	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
7	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
8	オリジナル曲のミキシング ステムデータ・マルチデータ・2MIX提出
9	前期まとめ
10	後期動機づけ 授業の趣旨 前期の復習
11	オリジナル曲のミキシング
12	オリジナル曲のミキシング
13	オリジナル曲のミキシング
14	オリジナル曲のミキシング
15	オリジナル曲のミキシング
16	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
17	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
18	オリジナル曲のミキシング ステムデータ・マルチデータ・2MIX提出
19	後期まとめ

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	スコアトレーニング I		実務授業の有無	×
担当講師	佐藤 和音		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	19 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	レコーディングエンジニアとして必要な楽譜の読み書きについて学ぶ。 楽譜を持ち込むアーティストの要望に応えられるエンジニアになるために必要な知識を学ぶ
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／楽譜を読むこと、書くことの必要性とは
2	小節線／縦線／音部記号／臨時記号
3	反復記号
4	拍子と拍子記号／いろいろな拍子の音楽
5	音符と休符、聞き取り、読み書き 8分音符まで
6	音符と休符、聞き取り、読み書き 16分音符
7	音符と休符、聞き取り、読み書き 復習
8	テスト準備 練習問題
9	前期テスト
10	イントロダクション／前期復習、後期授業の説明
11	前期復習 音符の読み書き
12	音感チェック
13	簡単なリズムの聞き取り
14	簡単なメロディの聞き取り①
15	簡単なメロディの聞き取り②
16	簡単な楽譜の視唱①
17	簡単な楽譜の視唱②
18	簡単な楽譜の視唱③
19	後期まとめ テスト

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	スコアトレーニングⅡ		実務授業の有無	×
担当講師	佐藤 和音		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	レコーディングエンジニアとして必要な楽譜の読み書きについて学ぶ。 楽譜を持ち込むアーティストの要望に応えられるエンジニアになるために必要な知識を学ぶ
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明／1年次授業の説明
2	尺譜の作成
3	尺譜の作成
4	尺譜の作成
5	尺譜の作成
6	尺譜の作成
7	尺譜の作成
8	尺譜の作成
9	前期評価テスト
10	後期授業概要説明
11	楽譜の読み取り①
12	楽譜の読み取り②
13	楽譜の読み取り③
14	さまざまな形態の楽譜 ピアノ大譜表・エレクトーン楽譜
15	さまざまな形態の楽譜 TAB譜、バンドスコア
16	さまざまな形態の楽譜 移調楽器について
17	さまざまな形態の楽譜 吹奏楽・オーケストラ楽譜
18	楽譜制作ソフトの紹介
19	後期まとめ

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲50%、期末テスト50%での成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	サウンドレコーディング技術概論		実務授業の有無	○
担当講師	井上 一郎		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	18
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	JAPRS主催 サウンドレコーディング技術認定試験へ向けての検定対策授業。
------	---------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	サウンドレコーディング試験についての説明 I 音響の基礎理論 1 音響の基礎／2 音響物理の基礎／3 電気音響の基礎
2	I 音響の基礎理論 4 電気の基礎知識 II 音響機器とスタジオシステム 5 スタジオシステム(室内音響)／6 音響設計ガイドブック
3	III レコーディング技術と先進技術 7 スタジオシステム(信号伝送)／8 マイクロホン／9 ミキシングコンソール
4	III レコーディング技術と先進技術 10 エフェクタ／11 テープレコーダ／12 モニタースピーカ／13 規格表／14 定番の音響企画
5	III レコーディング技術と先進技術 10 エフェクタ／11 テープレコーダ／12 モニタースピーカ／13 規格表／14 定番の音響企画
6	III レコーディング技術と先進技術 15 ペアマイク收音／16 オーケストラレコーディング(マルチトラック)／17 リズムトラックのレコーディング(マルチトラック)／18 ダビング(マルチトラック)／19 ミックスダウン
7	III レコーディング技術と先進技術 20 ライヴレコーディング／21 マスタリング／22 次世代音響技術 6.1 デジタル録音とサラウンド制作／23 次世代録音技術 6.2 マルチチャンネル
8	IV 音楽、音楽著作権、音楽録音の流れ、録音の歴など 24 音楽理論と楽器について／25 音楽に関わる基礎知識／26 音楽著作権／27 音楽制作の歴史とスタッフの役割
9	IV 音楽、音楽著作権、音楽録音の流れ、録音の歴など 28 レコーディングに関わる用語／29 録音の歴史／30 音楽スタジオ関連年表

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1987年～2003年、Studio TAKEONEにてアシスタントエンジニアとして勤務 2003年、故郷新潟にレコーディングスタジオを開設。2006年、株式会社エヌドライブ設立～代表取締役。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	CD制作実習		実務授業の有無	×
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	レコーディングコース

授業概要	<p>作曲・編曲コースの「CD制作実習」と連携し、レコーディングが必要な楽曲の対応をし、完成まで担当をする。 前期集大成「Summer Review」後期集大成「Grand Concert」での楽曲配布を目標とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明、ガイダンス
2	CDコンセプト・テーマについてのミーティング
3	CDタイトル、デザインコンセプトについてのミーティング
4	CDデザインコンセプトについてのミーティング
5	レコーディング
6	レコーディング
7	レコーディング
8	レコーディング
9	最終楽曲聞き合わせ、完成楽曲の提出
10	授業概要説明、ガイダンス
11	レコーディング
12	レコーディング
13	レコーディング
14	課題曲1提出&聞き合わせ／課題曲2要項紹介、楽曲制作2-(1)
15	レコーディング
16	レコーディング
17	レコーディング
18	レコーディング
19	課題曲2提出&聞き合わせ／総評

教科書等	なし
成績評価	<p>授業態度および学習意欲をみて成績評価とする 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	